

創作に集中！ご遠方なので写真撮り！（安藤）

魔女のトローラ

と影の忍者  
クロ

の



ゆかい

な物語

トーラはどんな魔女？

トーラは、村の人たちのメイドをしていて、  
この日は〇〇さんの家、あの日は□□さんの家と、  
とてもいそがしい毎日をおくっていました。  
魔法でチャチャッと料理をしたり そうじをしたり  
村の人たちは大助かりです。

あら!だれか きたのかしら？

そこに立っていたのは、  
その日メイドをしていた家のご主人とそのおくさんでした。  
ご主人とおくさんは ドアが開いたとたん、  
とてもいいにおいがして、  
すぐカレーだとわかりました。  
だけど、いつも食べているカレーとは  
少しちがうにおいもします。  
ご主人はトーラに、  
「これはなんのにおいですか？」  
と聞きました。  
トーラは  
「どんな料理にもあう、魔法の使える者しか  
知らない秘密の材料ですよ」  
と答えました。

ご主人は

「秘密の材料を見せてもらえませんか？」

とたずねました。

トーラはすなおに

「いいですよ！」

といました。おくさんも見ることにしました。

秘密の材料は ミスビチュレットといって

実は 毒があるのです。

だから、毒のないところをすりつぶしてつくります。

トーラ!どうする?

トーラは メイドですが、医師でもあります。

トーラは 魔法でつくった薬を

老人に のませようと思いました。

しかし、薬箱を家に おいてきてしまいました。

取りにいこうにも ここから家まで 10km はあります。

トーラは 今もっている材料で 薬をつくろうと

しましたが、1 つ足りない材料があります。

それは 1 つの森に 2,3 こ みつかるぐらいの

希少なものでした。

トーラは その材料になる実を さがしに いくことにしました。

しかし、さがしても さがしても 見つかりませんでした。

トーラは つかれて へとへとに なっていましたが、  
とうとう その材料のもとになる実を見つけたのです。

トーラは 大いそぎで 老人の家におかいました。

薬をつくと、すぐさま 老人に飲ませました。

老人は 安心したように 息をはくと、

トーラさん ありがとう とお礼を言いました。

メドラ!どんな魔女かしら?

トーラは ひまが出来たら メドラに あいさつでもしに行こうかな  
と思いました。

メドラは いろいろな国を旅して 気に入った所に住むそうです。

森や動物、植物が好きで、大自然にかこまれた所に住むのが  
ゆめなんだそうです。

あと、動物や植物の気持ちが分かるらしくて、

トーラは 動物と会話は出来るけれど、気持ちまでは  
分からないので、少しおどろきました。

トーラは、この山は 動物も植物もたくさんあるから  
この山に住むかもしれないと思いました。

翌日、クマから メドラが この山に住み始めると聞いて、

トーラは やっぱり この山が 気に入ったのだなと思いました。

なぜ気に入ったのか聞くと 動物や植物がたくさんいて  
あることのほかに 動物が親切なこと、

これほど きれいな緑や花を見たことがないことだそうです。

トーラは メドラが山に住み始めてから会う機会が増えて、  
すっかり友達になりました。

トーラ!どうする?お祭りがあるわ~!

トーラは 人とおしゃべりするのは、好きだけど、  
にぎやかな所が 苦手でした。

祭りには 山の動物たちもたくさんいました。

その中で、山でいちばんおどるのが得意なにわとりが犬に  
おどりを教えていました。

基本的なステップや ふりつけのしかたリズムなどです。

犬は すぐに覚えていきました。

そこに トーラがやって来ると、犬が

「練習の成果を見せたい。いっしょにおどってくれませんか」

とお願いしたので、トーラは、

「もちろんいいわよ。」

といって おどりだしました。おどっているのは、

この村で一番人気の「村の魔女」という曲です。メドラに聞くと、

「この町はとてもいい所で気に入ったけど、

まだ見ていない所は たくさんあるから。

「1年くらいでのこりを見てまわってくる」

と返してくれました。トーラはメドラが留守にしている間、

ふくろうのクロを伝書バトがわりにして、

メドラと手紙のやり取りをすることにしました。

クロは 森の動物たちのなかで一番はやくまるで忍者のように

物音一つもたてずにとぶふくろうなので

「空飛ぶ忍者」といわれていました。



クロの住んでいる山には、木の実がたくさんありました。

その中で、一匹の鳥がさくらんぼを見つけました。

とても赤くておいしそうです。

その鳥がさくらんぼをとろうとしたとき、

横から黒いものがとび出して、さくらんぼをとり、

向こうの木の枝にとまりました。

一しゅんの出来事でびっくりした鳥は木にぶつかって、そのまま、さっきの

黒いものの正体は「空飛ぶ忍者」クロです。

クロはさくらんぼを食べようとした時、鳥に気がつくと

「ごめん君もねらってたのか」

といい、さくらんぼを分けてくれました。鳥は

「なんだクロだったのか。」

といって、さくらんぼを食べ始めました。

メドラがパリに?!

「クロ、メドラは今どこにいるの?」

クロがメドラへの手紙を届けて帰ってきた時、

トーラが聞きました。クロは

「えっとフランスのパリ」

「パリ!そんな所まで飛んできたの?」

トーラがおどろいて聞き返しました。

「へえ～メドラがパリに」

トーラがやっと落ち着いてきました。

メドラが村をはなれて5ヵ月がたちました。

トーラとメドラは手紙のやり取りをもう 何十回もしています。

次の日、メドラから返事がきました。

「パリに着いたとたん、なぜか落ち着く感じがしました。

にぎやかだけど、おだやかなふんいきもあって

とても良い素晴らしい街だと私は思います。

パリに来て本当に良かった。トーラも来たら？」

トーラはさそいを受けてすぐさま行くことにしました。

メイドの仕事はしばらく休んでパリに行ってくると

村人たちに伝えるとクロといっしょにほうきにのって

あっという間に行ってしまいました。

フランスでの 1 週間

トーラはフランスへ超特急で行きました。

フランスに着くとメドラはメドラ特製のパン

「トレビアン・シャンミー」とお茶で歓迎してくれました。

パリは青々とした大小様々な並木がたくさんあり、

とてもすてきな町並です。

夜になるとビルやエッフェル塔の光が宝石のように輝いています。



夜も昼もとても美しい街だと思います。

そこには、茶色いかべに黒い色のドアと看板がある

おしゃれなカフェがあります。

中に入ると、時計のとびらが開き、

3時を知る小鳥のさえずりが聞こえました。

トーラはハーブティーとクッキーを、

メドラはコーヒーとフルーツタルトを注文しました。

二人はカフェの中をまんきつした。

二人は手をつないで、なにかしらの呪文を唱えて、

つえを上にかかげると まわりが風でおおわれ

風がおさまったときには、

もう二人は別の場所に移動していました。

別の場所でもやはりパリと同じ風のうずまきが起こりました。

おさまると、中からトーラとメドラが出てきました。

さあこれから どんなへびに会いに行くのでしょうか。

